

平成22年 5月 9日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

このお知らせは、国への報告対象トラブルではありませんが、炉心確認試験中に発生したものであり、参考までにお知らせするものです。

高速増殖原型炉もんじゅ
FFD CG法プレシピテータC号機のバイパスについて

平成22年5月6日23時09分頃、破損燃料検出設備におけるカバーガス法破損燃料検出装置のプレシピテータのうちA号機に切替る際、核分裂生成物（FP）を検出している電気回路のノイズにより、「FFD CG法*プレシピテータ計数率高」（バックグラウンドの3.7倍）警報が発報しました。

本日も同様の警報が、10時1分頃、10時46分頃、11時09分頃、11時31分頃、11時54分頃発報しており、12時04分、手順書に従いA号機のプレシピテータをバイパスしB、Cの交互運転に移行しました。

【5月7日お知らせ済】

平成22年5月9日の8時頃からC号機についてもノイズが高くなる傾向がみられたことから、本日18時24分、予防保全の観点からC号機についてもバイパスし、B号機で計測を継続しています。警報は発生していません。

プレシピテータB号機の運転状態は良好であり、他の破損燃料検出装置についても健全であることを確認しています。

次回の計器校正の時期にA号機と合わせて点検を行うこととします。

なお、本事象による、環境と炉心確認試験への影響はありません。

* 破損燃料検出装置 カバーガス法

(添付資料) 破損燃料検出装置構成図

以上

